令和７年４月９日

第　２　号

文責：１学年主任(窪地)

***北海道中標津高校　第７９期生***

***１ 学 年 通 信***

**学校は『学びのための、公共の場所』です。皆が穏やかに生活できて欲しい。**

**そのために、周囲への目配り・気配り・心配りを大切に！**

生徒手帳には「生活心得」が載っています。これは、「この心得を意識して生活することで、皆が穏やかな学校生活を過ごすことができる環境につながる」ようにという意味で設定されています。当然ですが、生徒心得は学校ごとにルールが異なるものです。中標津高校では、生徒手帳に載っているルールが好ましいのでは、ということで決められています。※一部、古いままのものがあるかもしれません。

それでは、心得に載っていないことは何でもOKなのかというと、そうではありませんよね。

昨日の入学式で配付した学年通信でも、『教室や廊下など、すべての場所で配慮すべきことがある』と記載しましたが、皆さんに意識してほしいのは、『自分以外の方々への配慮・敬意』を持つことです。学校という設備を大切に。学校にいる自分以外の人たちのことも大切に。お互いを尊重する気持ちを大切にして生活してもらいたいです。それが、『皆が穏やかに生活できること』につながります。

先生方は、皆さんを取り締まるためにいるのではありません。生活心得を暗記して、君たちの行動に目くじらをたてることなど一切していません。（当然、周囲に迷惑をかけている様子があれば指導はしますし、事故や問題につながるようなことを事前に防ぐための注意などはしますが。）

皆さんは中学校までの義務教育を卒業し、同世代にはもう社会の一員として働いている人もいます。大人として世の中の活動に参加していく中で、いちいち誰かがルールを教えてくれるものでもありませんし、そもそもルールが存在しない環境に出会うかもしれません。そんなときの自分の判断の基準の一つが『周囲への配慮』になると思います。その場、その時に、どのような行動をすべきか。自ら判断しながら、行動できる人材に成長してほしいと思います。是非身につけて、高校生活を過ごしましょう。

生活心得とは別に、次の3点は、自然にできると良いです。

**①　挨拶　　　②　時間を守る　　　③　整理整頓**

誰かに言われて、ではなく、自分から率先してできてほしい。

この3点が当たり前となっている環境は、快い環境だと思います。

　最後に、自分自身も大切にしましょう。周囲へ配慮しすぎて、自分自身を犠牲にしすぎてもよくありません。一部の誰かだけ負担が強い環境は、結局うまくいかないです。

周囲も大切に。自分も大切に。快い７９期生という学年集団をつくっていきましょう！